

2015

第4号

若者がつくる広報ニューしすい

YOUNG EYES



私たちが届けます 元気な酒々井

—しすいの森パークゴルフ場—

1月17日、Young Eyesの編集メンバーが訪れたのは、墨地区にある「しすいの森パークゴルフ場」(写真)。取材の途中で誰かの「やってみたい！」の一声にみんな賛同し、急きょパークゴルフを体験することに……。そそくさと身支度を済ませ、事務所の方から簡単な指導を受け、いざホールへ。ほぼ全員が初体験ということで興奮してしまい「広～い!」、「楽～い!」とワイワイ、ガヤガヤのプレーでいささかご迷惑?

ビギナーズラックあり、ペナルティーありと、いろいろ珍道中でしたが、気軽に楽しんでラウンドできました。みなさんもぜひ一度プレーしてみてもいいかなと思います。(笑)



広報ニューしすいYoung Eyes編集委員会 中台陽一郎 佐藤加奈子 北岡未由 杉山紗英 中村紗基

◆発行・編集/酒々井町企画財政課 〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043(496)1171

～若者からの情報発信～

町の魅力づくりには、若者のアイデアや行動が必要だと思いますが、編集委員のみなさんは、何かアイデアをお持ちですか？

若者があふれる活気ある町の未来予想図を描いたときに、何を思い浮かべますか？

青春思考

～女子トーク編～

2015年になって、はや1ヶ月が過ぎました。何気なく日々を過ごす人、仕事や勉強、はたまた趣味や恋愛に夢中な人。いろんな若人がいるかと思いますが、世の中で起きていることに少し目を向けて、「魅力あるまちづくり」について、本紙の女子編集委員がトークを展開しました。



佐藤

私は、「魅力あるまちづくり」ってこれから自分たちの世代が作っていくことだと思っんです。若い人がどんどん積極的に社会に参加したり、人との交流を活発にしていけることが大事だと思っています。

役場（行政）の中でも参加できることがあれば、積極的に参加して若者の意見を取り入れてもらえるように働きかけるとか。



山

社会参加とか人との交流という点に関して言うと、私は順大の学生で、京成酒々井駅から大学に向かうのですが、道の両脇に広がる田園地帯で、農繁期に農家の方々を見ていてふと、一緒に作業してみたいな！そういえば、あんまり若い人もいない

な！なんて思うことがあるんですよ。仕事の場所とかでも交流は必要じゃないかなって。

中台（割り込み男子） 農作業をやってみたくっていいのは、良い話だと思います。農業も後継者不足が深刻ですからね。実際に若い人たちが農業に携わる機会ができれば活気づくと思っ

司会 本当ですね。田んぼや畑に若い人の姿がないのは寂しい。



北岡

「魅力あるまちづくり」という意味では、町を華やかに演出するのも必要かなと思っ。例えば、どこかの通りをたくさんアート作品で埋め尽くすとか、音楽を流すとかで、癒されたり、わくわくしたり、目や耳で感じる部分を演出することも大切じゃないかなと思っ。



中村

若い人たちが普段から町の人たちと活発に交流できる場が必要だと思っ。でも実際は、なかなかそういう場所も機会も見つからない。私も町の人たちと気軽に触れ合いたく思っ。なので、そういう機会を探していいと思っ。

司会 若い人たちが積極的に社会参加することが皆さんのお話しに共通したキーワードのようなので、具体的などのよう

うなことで、まちづくりに参加してみたいですか？

佐藤 歴史のある町なので、印象深い街並みとか情緒のある景観づくりに参加してみたい。司会 そうですか。でしたら町では景観づくりを進めているのでワークショップとかに参加してみたいですか？

佐藤 実はそこが一步進めないのです。町のことを知らないから：地理的・歴史的に、もう少し勉強しないと意見が持てないというか。

一同 うーん。北岡 駅の周辺に酒々井らしさを感じる演出がほしいね。

それから私は、家庭料理をお母さん、おばあさんの世代から教えてもらいたい。それをまた伝えて行きたいから、料理を通じて世代間の交流ができればいいと思っ。

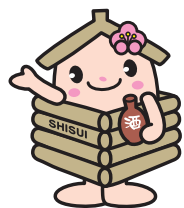
杉山 町内で行われている祭りやイベントを若者が中心となって演出できれば盛り上がるかも。

中村 若い人が街に溶け込むのに、空き家を若い人たちでシェアして普段から近所づきあいしてゆく中で、北岡さんがいうような料理とか、他にもいろいろ教えていただく機会が生まれるかなって？

杉山 身近に暮らしたら、祭りやイベントごととかも参加しやすくなりそう。それにお互い安心感が生まれると思っ。

司会 「空き家」といえば、結構社会的にも問題になってますね。アイデアとしてはいい考えなのかもしれないね。

まだまだ話題が尽きない感じですが、紙面の都合で、続きは次回にまた盛り上がりましょう。





佐藤

今回は編集委員の中台さんが、町の安全と安心を守る重要な役割を担う、消防団員ということで、私、佐藤が「消防団」について、活動内容や課題を伺いながら紹介をします。



町の安全・安心を守る 酒々井町消防団

中台 父親も消防団に入っていて、消防団については身近に感じていました。
私は、酒々井町で生まれ育ち、町のために地域貢献をしたいと思っていましたので、消防団に入団しました。

佐藤 消防団に入団した動機は何ですか？
中台 消防団は、消防本部・消防署と同じく、消防組織法に基づいて市町村が設置する消防機関で、地域住民で構成するものです。普段はそれぞれ職業をもっていて、消防活動を職業としていない方々です。非常勤の特別職の地方公務員で、消火活動や救助活動、地域の見回りなどをを行います。



中台

佐藤 中台さんは消防団員なんですね。色々と教えてください。消防団とはどういう組織なんですか？
中台 消防団は、消防本部・消防署と同じく、消防組織法に基づいて市町村が設置する消防機関で、地域住民で構成するものです。普段はそれぞれ職業を



夜警活動の様子

佐藤 消防団はどのような活動をしているのですか？
中台 火災現場を想定してポンプ、ホースなどの操作を迅速かつ正確に出来るように訓練を行っています。
町では2年に1回、消防団の消火技術を競う消防操法大会が行われていて、各消防団が日ごろの訓練の成果を競います。



小学校での講演

強の大震災が発生したことを想定した町の防災訓練が中央台公園で行われた際には、消火訓練や炊き出し訓練を地域の方々と一緒に行いました。



消防ホースを持つ児童

また、土のうなどを組む水防訓練の参加、夜警をして地域住民に、火の元の取扱いの注意喚起、小学生の社会科学習の一環として、小学校に向いて講演を行い消防団について理解を深めてもらう活動も実施しているんですよ。
台風時には、町内被害状況の確認のため、各地区を巡回して町に報告をしたりする風水害時の対応や、昨年の10月に震度6

佐藤 消防団の課題は？
中台 消防団員の減少です。地域とのつながりも希薄化している中、地域を担っていく新しい人材を増やすことが課題だと感じています。「自分の町や地域を自分たちの手で守りたい」という熱意のある方は、ぜひ一緒に活動してみませんか。
佐藤 消防団について、色々わかりました。消防団は、日頃の活動を通して、町民の生命・財産を守っているんですね。ありがとうございます。



地域住民との消火訓練



輝く若さと溢れるエネルギー！

順天堂大学蹴球部 長谷川竜也さん



順大栄光の10番、ピッチでは縦横無尽に駆けまわる

1月下旬、酒々井在住で、将来有望なサッカー選手が居るとの情報がある。どんな人が会ってお話を聞いてみたい。と、人づてに名前と連絡先を聞いて、さっそく取材オファーすると、なんと即OK！ということで、今回のインタビューの主演、長谷川竜也さんにお話を伺いました。

プロ（Jリーガー）を目指して

- Q. 初めまして。早速ですがサッカーを始めたきっかけを教えてください。
- A. 幼稚園の時、引っ越し先で友達を見つけるために幼稚園のサッカークラブで、始めました。
- Q. サッカーが好きだなと思うときは？
- A. 上達していることが感じられるときですね。できなかったことができるようになって、とてもうれしいし、もっと面白くなりますね。

- Q. モットーとしている言葉はありますか？
- A. 初志貫徹です。最後までやり抜くことを大事にしています。
- Q. 長谷川さんのプレースタイルは？
- A. ドリブルが売りです。現在のポジションは、MF（ミッドフィルダー）です。
- Q. 現在、そして将来の目標は？
- A. 学生である今の目標は大学日本一です。昨年インカレで悔しい思いをしたので…。その次の目標はプロ（Jリーガー）になることですが、最終的には、仲間とサッカーを楽しみながら指導者として子どもたちにサッカーを教えたいと思っています。

好きなことを見つけたらあきらめないで続けよう

- Q. 今、一生懸命サッカーをしている子どもたちにメッセージはありますか？
- A. 好きで始めたことでも、つらい時があると思います。その時にあきらめないでサッカーを続けて、やりとげた喜びを味わってほしいです。

仲間になりませんか！ 編集委員募集中です

私たちと一緒に Young Eyes の編集に参加しませんか？ 18歳～35歳までの方で興味のある方はぜひお問い合わせください。

問い合わせ 企画財政課広報聴班

☎043(496)1171 ㊤222



試合前、応援の子どもたちと



プライベートな質問にはちょっと笑い

- A. お話は変わりますが、サッカー以外のことで今一番してみたいことはなんですか？
- Q. 友達と旅行がしたいですね。温泉とか…
- A. 気分転換にすることは何かありますか？
- Q. ボウリングとマンガを読むことですかね。練習がオフの前とかは一晩中してたこともある 笑

あっという間に、この行まで来てしまいました。全ての内容がお伝えできず残念ですが、笑顔を絶やさずインタビューに応じてくださった長谷川さん。Jリーグでその雄姿を見れる日も近いのかもしれませんが、ガンバレ！